

(様式3)  
【学校用】

## ふるさと教育 取組事例

学校名	雲南市立鍋山小学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
2	生活科	もっとなかよし まちたんけん	地域住民・鍋山郵便局 木次図書館・永井隆記念館等
ねらい	自分たちの生活は、様々な人や場所とかかわっていることや、地域で働いている人々の地域に対する思いに気づき、地域の人々に親しみや愛着をもつことができる。		

### 1 取組の概要

- 1) 鍋山のまちに、どんな人やもの、場所があるか話し合う。
- 2) 町探検の計画を立てる。
- 3) 町探検に出かけ、発見したものを絵地図にまとめたり、気づいたことや感じたこと、インタビューを通して分かったことなどを共有したりする。(5回)
- 4) 町探検で学習したことを劇にして、学習発表会で地域に発信する。
- 5) 地域のひとやもの・ことについての気づきや単元を通しての自分の成長についてふりかえり、新聞にまとめる。

### 2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。

(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から)

- 1) 町探検で見つけた、気づき(鍋山のすてき)を伝える場の設定  
学習発表会や新聞にまとめる活動を通して、自分たちが見つけた「鍋山のすてき」を地域の人に発信することで、地域の人と関わるよさや地域への愛着や親しみを再確認することができるようにする。



(学力育成の視点から)

- 1) 思考・表現する活動の工夫  
気づきを共有し深めるために、活動を振り返って、児童の気づきを共有する場を設ける。その際、ICTや絵カードを用いて気づきの可視化を行い、自分と友達の気づきをくらべることができるようにする。
- 2) 他教科との関連  
生活科の学習と国語科や特別活動等の表現に関わる学習との関連を意識し、表現の方法を指導することで、表現の意欲を高めていく。
- 3) 単元構成の工夫  
児童の思いを大切に、地域の人や施設に関わった体験活動を多く設定することで、子ども達が主体的に学習に取り組み、一人ひとり地域に対する親しみや愛着をもつことができるようにする。

\*取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。  
(このデータをHP等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。)



3 児童・生徒に見られた変容（どのような力が身に付いたか等）  
（ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から）

学習の振り返りとして取り組んだ新聞にまとめる活動で、「〇〇さんは、やさしくて、にこにこしています。知らないことをいっぱい教えてもらいました。」「〇〇さんは、優しくて力持ちです。町探検で行けてよかったです。」と記述するなど、特に地域の方に対する親しみや愛着をもつことができた。

（学力育成の視点から）

児童の思いや願いから町たんけんの対象を決め、地域の住民との交流を繰り返したことで、児童が単元の目標達成に向けて、意欲的に学習に取り組む姿につながった。

4 課題や今後の展望

上記に記したように、今年度は児童の思いを大切にし、児童が行きたい場所の多くに町探検に出かけた。そのため、単元を通して児童が意欲的に学習に取り組むことができた。今後は、児童の気づきを深めるために、同じ地域の方と繰り返し関わる活動を教師が意図的に取り入れていくことも必要だと感じた。

\* 取組の様子がわかるような写真を数枚貼り付けてください。

（このデータを HP 等に掲載することがありますので、写真は必ず承諾を得たものを貼り付けてください。）